

2019年度第2回理事会議事録

1. 日時：2019年7月20日（土）13：29～15：35
2. 場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 ミーティングルーム9
3. 出席者：

理事：総数28名中 松丸喜一郎会長 田村恒彦副会長兼専務理事 褐田登喜造副会長
岸高清常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事 大野明敏常務理事
鍵山博常務理事 横山幸子常務理事 三木容子常務理事 佐橋朋木理事
源洋子理事 成山悟史理事 高橋信吾理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事
柳田勝理事 田口亜希理事 松島愛理事 上之園正一理事 横沢聰理事
尾崎和郎理事 山下晃弘理事

以上出席23名

監事：総数2名中 石崎和男 香西俊輔 以上出席2名

田村専務が13時29分に理事23名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議長：代表理事 松丸喜一郎
5. 議事録署名人：松丸喜一郎、田村恒彦、褐田登喜造、石崎和男、香西俊輔
6. 松丸会長挨拶

松丸会長が、先日総会であらたに選ばれたメンバーでの最初の通常理事会となる。円滑な審議をよろしくお願ひしたい。と挨拶した。

＜審議事項＞

1. 高円宮憲仁親王妃久子殿下の名誉総裁ご就任申請について

田村専務より資料1のとおり説明があり、その中で高円宮久子殿下は特に射撃競技に造詣が深くあられオリンピックパラリンピックでの競技推進や、競技の振興にも大きくお力添えをいただけすることが期待され、名誉総裁にふさわしい方であるとの補足説明があった。さらに田村専務から任期は終身とするとの追記訂正をするとの説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく高円宮憲仁親王妃久子殿下の名誉総裁ご就任について申請することを、任期を終身とする資料1訂正部分も含め承認した。

2. 各本部委員会方針と編成について

各委員長より資料3のとおり説明があった。その中で各委員会について以下のような補足説明が各委員長よりあった。

総務委員会（横山委員長）

- ・女性活躍専門部会を新たに設置する。
- ・法務部会としてAP枠拡大に注力するとともに、各加盟団体との連携を強化したい。

推薦委員会（大野委員長）

- ・推薦要綱の基準を厳守しつつ会員ができるだけ長く推薦銃で競技ができるよう業務執行していきたい。

国体委員会（鍵山委員長）

- ・国体を国内最高の大会とするため、監督選手の質を高め、盛り上げる演出も検討する。

選手強化本部（松丸本部長）

- ・選手強化、ジュニア育成両委員会がしっかり機能を果たせるよう選手選考などのコンプライアンスチェック、補助金の適正使用チェックなどのサポートをする。

選手強化委員会（田村委員長）

- ・新N T C射場を活用しての合宿などを実施し東京でのメダル獲得目標を実現したい。

ジュニア育成委員会（三木委員長）

- ・ビームライフルの後継機の検討も始めたい。

東京 2020 オリパラ準備運営本部（袴田委員長）

- ・4部会を集約し部会ごとの担当委員も明確化した。

競技運営委員会（溝部委員長）

- ・五輪開催を見据え一般観客が興味を深めるような演出、動画配信を実施する。

普及・生涯スポーツ委員会（永谷委員長）

- ・これまでの分野にとらわれない範囲を拡げた普及活動にも取組むべきと考える。

特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く 2019、2020 年度の各常設委員会の方針、構成について資料 3 のとおり承認した。

3. 参事の交替、顧問の就任について

岸高事務局長より資料 4 のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く四国ブロックの細川律子参事から山木健参事への交替、清水寛氏の参事退任と顧問就任について承認した。

4. 国体へのミックスチーム種目導入と種目変更について

鍵山国体委員長より資料 5 のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く国体へのミックスチーム種目導入と種目変更内容について、および国体監督の要件として J S P O 公認ライフル射撃コーチ 3 および 4 のいずれかの資格を有するものとする件を資料 5 のとおり承認した。さらに鍵山委員長から、一部反対意見のある県にも M I X 導入の意義を理解し賛成されるべく各ブロック内でも働きかけをお願いしたいとの発言があった。

5. 第 13 期エリートアカデミー生選抜について

田村専務より資料 6 のとおり説明があった。その中で松丸本部長より、JOC 側の選考基準が競技力重視に変わったこともあり、高い競技力実績を示せる候補者がいなければ、推薦者なしの選択もありうるとの補足説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く第 13 期エリートアカデミー生選抜について資料 6 のとおり実施することを承認した。

6. 競技会報告書の写真提出義務の一部変更について

溝部競技運営委員長より資料 7 のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く競技会報告書の写真貼付について紙標的使用時のみ義務付ける事について承認した。

7. 公認審判員の承認について

溝部競技運営委員長より資料 8 のとおり説明があった。特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く 4 名の地方公認審判、1 名の本部公認審判、10 名の名誉審判の就任について資料 8 のとおり承認した。

8. 記録の公認について

源記録部会長より資料 9 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く 12 件の日本新記録、2 件のタイ記録について資料 9 のとおり承認した。

9. 抱点射撃場補修計画（藤枝）の承認について

岸高事務局長より資料 10 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く東海ブロックの抱点射撃場である藤枝市のスポーツパル射撃場の照明の LED 化工事について補助対象とすることを承認した。

10. 協会法人登記上の従たる事務所廃止について

岸高事務局長より資料 11 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く、従たる事務所として登記していた東京都渋谷区神宮前 1 丁目 17 番 5 号原宿シユロスビル 304 号室の総務室について資料 11 のとおり 7 月 20 日付けにて廃止することについて承認した。

11. 新 NTC 射撃場施設利用規則について

田村専務より資料 12 のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く新 NTC 射撃場施設利用規則について資料 12 のとおり承認した。

12. NRAJ 認定コーチ制度改訂案について

成山指導者育成部会長より資料 26 のとおり説明があり、鍵山国体委員長より、JSPO から 11 月の鹿児島国体の要綱を固める時期までに各県資格保有者が最低 2 名確保されている状態になっていないと 2020 年 4 月からの適用はむずかしいと指摘されている。との発言があり、成山部会長より、基本的なものとしてガイドラインはこのままで、日ラ資格保有者がいなか少ないところは個別にサポートしたいとの説明があった。ほかに質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く NRAJ 認定コーチ制度の第 10 条の選手に対するインテグリティ教育の実施について資料 26 のとおりとする改訂を承認した。

13. ISSF 定款変更への意見について

松丸会長より資料 27 の ISSF 定款変更案の 1 国 2 団体まで認める条項を 2021 年 12 月に廃止する条文案について、日ラとして反対したい旨説明があった。これについては特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議無く 1 国 2 団体を 2021 年 12 月以降に認める条項を廃止することに反対することを承認した。

☆なお、事前に資料配布した「名誉職および理事待遇・参事の選任等について」は次回以降の議題とするとの説明が議長からあった。

<報告事項>

1. 委員会報告：

1) 総務委員会

- ・加盟団体からの決算・事業報告提出義務の遵守について

田村専務より、平成 30 年度の各加盟団体の決算書、事業報告書について遅れずに提出されるようお願いする旨の発言があった。

- ・射撃指導員指定への各県警制約状況調査結果について
岸高事務局長より資料 14 のとおり射撃指導員指定への各県警制約状況について自民党のスポーツ射撃議連に報告する旨説明があった。
- ・射場保有高校の保管庫設置状況調査結果について
岸高事務局長より資料 15 のとおり全国の射場保有高校の保管庫設置状況調査結果について報告があった。

2) 推薦委員会報告

- ・推薦審査結果について
大野推薦委員長より資料 16 のとおり 5 月の推薦委員会審査結果について報告があつた。
- ・本年 6 月 22 日定時総会での廣田神奈川県ラ会長からの質問に関する事実関係について
袴田副会長から廣田神奈川県ラ会長が総会で質問した複数銃でそれぞれの銃において年 2 回の大会出場実績が無いために推薦取り消しとなつたという事実は無いことを確認したとの報告があつた。

3) 国体委員会報告

- ・福井国体ジュリー判断とクレームについて
鍵山国体委員長より口頭で福井国体ジュリー判断とクレームについて、選手の行為はファイナルでストップの号令がかかる間の空撃ちであったので、違反行為であった。いっぽうそれに対し、発見したジュリーがまず本射に入る前にイエローカードで警告すべきところが、されていない点。警告と複数ジュリーによる協議を経ずに主任ジュリーがグリーンカードを出して減点した点は、不適切なジュリー判断であったと、国体委員会で確認したとの報告があつた。
- ・溝部競技運営委員長より、審判員に対する評価制度の導入は必要であり、次回理事会までに案を作れるよう検討するとの発言があつた。
- ・茨城国体、鹿児島社会人について
鍵山国体委員長より茨城国体の中央派遣役員について、鹿児島社会人の日程、中央派遣役員、競技運営について資料 17 のとおり報告があつた。

4) 選手強化委員会報告

- ・WC リオ大会派遣について
田村選手強化委員長より資料 18 のとおり WC リオ大会派遣メンバーを派遣するとの報告があつた。
- ・2019 年度 JOC ネクストシンボルアスリート制度対応について
三木ジュニア育成委員長より資料 19 のとおり 2019 年度 JOC ネクストシンボルアスリート指定について中口遥選手とすることを報告した。

5) ジュニア育成委員会報告

- ・I S S F ジュニアワールドカップズール大会派遣について
三木ジュニア育成委員長より資料 20 のとおり I S S F ジュニアワールドカップズール大会派遣メンバーについて報告があつた。

・第3回東アジアユースエアガン大会選手派遣について

三木ジュニア育成委員長より資料21のとおり第3回東アジアユースエアガン大会に派遣することを報告した。

・第30回ユニバーシアードナポリ大会結果報告

三木ジュニア育成委員長より資料22のとおり第30回ユニバーシアードナポリ大会の結果について報告があった。

6) 競技運営委員会

・射撃場の変更について（電子標的導入・高知）

溝部競技運営委員長より資料23のとおり高知県立射撃場の電子標的導入に伴う変更について報告があった。

7) 普及・生涯スポーツ委員会報告

・NRAJ認定コーチ制度の運用について

成山指導者育成部会長より資料24のとおりNRAJ認定コーチ制度の運用についてJSP公認コーチ3資格者の方で日ラ認定コーチ未取得の方は、8月からeラーニングによるインテグリティ教育を受講し、受講が確認されればB級コーチに認定される事などの報告があった。

8) アスリート委員会

・委員の選任結果について

岸高事務局長より資料25のとおり、アスリート委員4名が選任されたとの報告があった。

2. 会務報告

・7月13日に小野尾正治名誉会員（85歳）が逝去されたとの報告が岸高事務局長よりあった。

・ライフル銃の銃刀法施行令での最短全長を10cm短縮する改訂について9月末に公布同日施行となる見込みとの報告が岸高事務局長よりあった。

3. その他

・2020年東アジアユースの開催地について

鍵山常務より来年の東アジアユースは日本での開催に順番ではなると思うがどうかとの発言があり、岸高事務局長から来年はオリンピックパラリンピック開催中となるため、日本開催は1回とばしてシンガポールでお願いできないかと、本年8月の韓国開催時に韓国、シンガポールにお願いしてみる方向で考えていると答えた。関連して、田村専務理事が来年の国内大会の開催時期はできるだけオリンピック、パラリンピック開催期間を避けてお願いしたいとの発言があった。

15時35分に松丸議長が閉会を宣言した。

2019年7月31日

議事録署名人

公益社団法人日本ライフル射撃協会

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



代表理事

袴田登喜造

袴田登喜造



監事

石崎和男

石崎和男



監事

香西俊輔

香西俊輔

